

情報公開文書

研究の名称	黄斑円孔術後の短時間 face down positioning と閉鎖率および視機能についての検討
研究代表機関	富山大学附属病院
研究機関の名称	高山赤十字病院, 高岡市民病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	富山大学附属病院 病院長 山本善裕 高山赤十字病院 病院長 竹中勝信 高岡市民病院 病院長 福島 亘
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。</p> <p>【研究の目的・方法】 黄斑円孔術後の face down positioning（うつ伏せ体位）時期については一定のコンセンサスが得られていません。長時間におよぶ face down positioning は患者様にとって苦痛をもたらします。富山大学附属病院、高山赤十字病院および高岡市民病院では術後 face down positioning をしていただく時間を基本的に1～2時間としています。短時間でも十分に黄斑円孔の手術成績が良好であるかを調査する。 後ろ向きにカルテベースで術日、症状発症日、性別、年齢、術眼、術式、既往歴、眼軸長、タンポナーデ物質、円孔径、術後 face down positioning 時間、執刀医、術前から術後1年までの視力、術後 OCT 画像をカルテ情報及び眼科外来に設置されている検査機械に保存されている検査結果を取得し、検討します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2026年05月31日</p> <p>【研究対象者】 富山大学附属病院、高山赤十字病院および高岡市民病院で2021年1月1日から2025年4月30日までに黄斑円孔に対して硝子体手術を受けた全ての患者様</p> <p>【研究資金、利益相反の状況】 なし</p> <p>【個人情報の取扱い】 取得された情報は氏名、診療録 ID 等の個人識別が可能な記述は用いませ ん。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表および論文掲載を予定しています。</p> <p>【試料・情報の他機関への提供有無】 有</p>
②利用又は提供する試	

料・情報の項目	<p>【試料・情報の項目】</p> <p>後ろ向きにカルテベースで術日、症状発症日、性別、年齢、術眼、術式、既往歴、眼軸長、タンポナーデ物質、円孔径、術後 face down positioning 時間、執刀医、術前から術後1年までの視力、術後 OCT 画像</p>
③利用又は提供を開始する予定日	実施許可日 ～ 2026年05月31日
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	富山大学附属病院 病院長 山本善裕
⑤提供する試料・情報の取得の方法	カルテ情報及び眼科外来に設置されている検査機械に保存されている検査結果を取得する。
⑥利用する者の範囲	別紙「共同研究機関一覧」のとおり
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院 病院長 山本善裕 高山赤十字病院 病院長 竹中勝信 高岡市民病院 病院長 福島 亘
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	<p>研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究期間への提供も含む。）に対して、拒否を希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。</p> <p>富山大学附属病院 電話 076-434-2315 眼科外来（内線 3710）または 076-434-7363 眼科医局 FAX 076-434-5037 E-mail ahayashi@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 眼科 林篤志</p> <p>高山赤十字病院 電話 0577-32-1111 FAX 0577-34-4155 E-mail tredmil_1008@yahoo.co.jp 担当者所属・氏名 眼科 高田雄太</p> <p>高岡市民病院 電話 0766-23-0204 FAX 0766-26-2882 E-mail hospitaljim@city.takaoka.lg.jp 担当者所属・氏名 眼科 加藤剛</p>